みずほCustomer Desk Report 2017/08/02 号 (As of 2017/08/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	110.29	
TKY 9:00AM	110.36	1.1820	130.46	0.9676	1.3198	0.8003
SYD-NY High	110.59	1.1846	130.59	0.9682	1.3245	0.8043
SYD-NY Low	109.92	1.1786	129.85	0.9632	1.3192	0.7961
NY 5:00 PM	110.38	1.1802	130.28	0.9656	1.3204	0.7968
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.65/9.05	Δ25RR	1.105	Yen Call Over

NY DOW	21,963.92	72.80	債券市場	日本2年債	-0.1130	-
NASDAQ	6,362.94	14.82		日本10年債	0.0780	▲0.5bp
S&P	2,476.35	6.05		米国2年債	1.3411	▲0.8bp
日経平均	19,985.79	60.61		米国5年債	1.7994	▲3.6bp
TOPIX	1,628.50	9.89		米国10年債	2.2532	▲4.1bp
ｼｶｺﾞ日経先物	20,015.00	75.00		独10年債	0.4910	▲5.2bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,423.66	51.66		英10年債	1.2130	▲1.7bp
DAX	12,251.29	133.04		豪10年債	2.7140	3.6bp
ﾊﾝｾﾝ指数	27,540.23	216.24	為替市況	USD/CNH	6.7299	0.0028
上海総合	3,292.64	19.61		ドルインデックス	93.04	0.18
USDJPY 3M Vol	8.95	▲0.04%	商品市況	CRB指数	180.756	▲1.89
USDJPY 6M Vol	9.18	0.00%		NY金	1,279.40	6.00
EURJPY 3M Vol	9.56	▲0.08%		WTI	49.16	▲1.01
EURJPY 6M Vol	9.73	▲0.09%		Dubai Spot	51.39	0.30

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は110.36ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方こそ110.42まで上昇する局面があったものの、前日のｽｶﾗﾑｯﾁ米広報部長解任の報道を受けてﾄﾗﾝﾌﾟ政権の政権運営力への不透明感が漂う中、ﾄﾞﾙ円は上値重く推移。前日安値110.21を下回ると110.01まで下落。但し、同水準は押し目と見る向きや、通貨ｵﾌﾟｼｮﾝのﾄﾘｶﾞｰとして意識される向きもあり、相応に買い意欲があったとみられ110.00を下抜けするには至らなかった。午後に入り、RBAが政策金利を1.50%に据え置くと発表したものの、予想通りの結果にﾄﾞﾙ円相場への影響は限定的。結局110円台前半での推移が継続し、110.24ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は110円台前半から半ばへ上昇する展開となった。朝方は110.24ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。序盤は110円台前半でもみ合いとなり、一時ﾛﾝﾄﾞﾝ時間安値110.09まで下落。但し、下落したところでは買戻しの動きが意識されたほか、英7月製造業PMI が予想を上回ったことを受けてﾎﾟﾝﾄﾞ円が上昇したことにもｻﾎﾟｰﾄされ、ﾄﾞﾙ円は110円台半ばまで上昇。結局ﾛﾝﾄﾞﾝ時間高値110.53まで上昇した後、110.49ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは強い経済指標の結果を受け一時1.3200近辺から1.32台半ばまで上昇したものの、その後は反落。朝方は1.3207ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。序盤に1.3200まで下落したものの、英7月製造業PMIが55.1と市場予想市場(54.5)を上回る結果となった事からﾎﾟﾝﾄﾞが買われ、ﾛﾝﾄﾞﾝ時間高値1.3240まで上昇。しかし、その後は米金利が上昇してﾄﾞﾙが強含みに推移したことから、ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは安値1.3197まで下落。結局、1.3204ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 日比野)

ニューヨーク

ﾄﾞﾙ円は110.49ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方、市場では再度下値ﾄﾗｲとの見方も出ていたものの、買戻しの動きから高値110.59まで上昇。しかし8時半に発表された米6月個人所得が予想予想を下回ったことや、米6月PCEﾃﾞﾌﾚｰﾀが4ヶ月連続で減速したことからﾄﾞﾙ円は反転。米7月ISM製造業景況指数は予想とほぼ一致したことからﾄﾞﾙ円の反応は限定的となる。その後、特段のﾆｭｰｽが見当たらない中、ﾕｰﾛ円が直近の高値130.76を抜けられなかったことから売りが強まると、ﾄﾞﾙ円も連れ安となり110.00を割れて109.92の安値まで下落。しかしこのﾚﾍﾞﾙでは買い意欲もあり、ﾄﾞﾙ円はじりじりと下値を切り上げ、110.37まで値を戻す。午後は新規材料に欠ける中、閑散な取引が続き110.38ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは第2四半期ﾕｰﾛ圏GDPが良好だったことから、1.1820付近での高値圏での取引が続き1.1811ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は1.1838まで戻す局面もあったものの、ﾕｰﾛ円の売りに上値を抑えられ、1.1786まで下落する。午後一旦1.1838まで戻す局面もあったが、その後は1.1800付近での推移が続き、1.1802ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高野・坂本

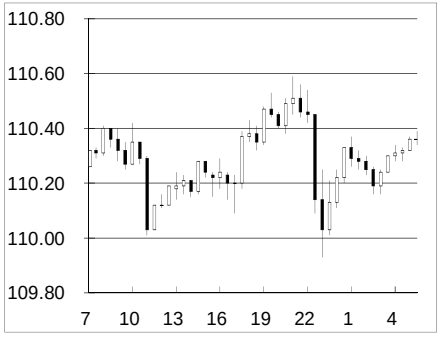
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月1日	10:45	中	Caixin製造業PMI	7月	51.1	50.4
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.50%	1.50%
	17:30	英	マークイット製造業PMI	7月	55.1	54.5
	18:00	欧	GDP(季調済・前期比/前年比)・1次速報	2Q	0.6%/2.1%	0.6%/2.1%
	21:30	米	個人所得/個人支出	6月	0.0%/0.1%	0.4%/0.1%
	21:30	米	PCEデフレータ(前月比/前年比)	6月	0.0%/1.4%	0.0%/1.3%
	21:30	米	PCEコアデフレータ(前月比/前年比)	6月	0.1%/1.5%	0.1%/1.4%
	22:45	米	マークイット製造業PMI・確報	7月	53.3	53.2
	23:00	米	ISM製造業景況指数	7月	56.3	56.4

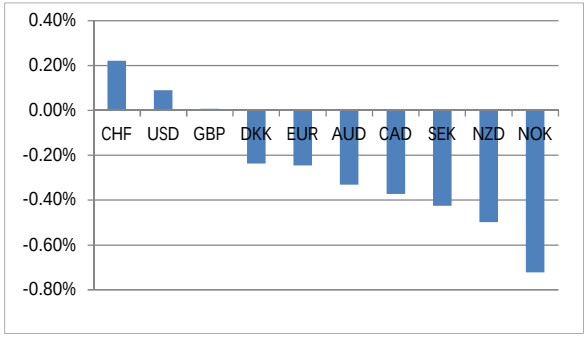
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月2日	10:30	豪	住宅建設許可件数(前月比/前年比)	6月	1.0%/-11.0%	-5.6%/-19.7%
	18:00	欧	PPI(前月比/前年比)	6月	-0.1%/2.5%	-0.4%/3.3%
	21:15	米	ADP雇用統計	7月	190K	158K
8月3日	00:00	米	メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	-
	04:30	米	ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.90-110.90	1.1750-1.1850	129.80-130.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円は一時109円台まで下落した。アジア時間に前営業日の安値110.21を抜け一時110.01まで下落したドル円は海外時間に入り、良好な英製造業PMIを受けたポンド円の上昇にサポートされ、高値となる110.59まで反発した。その後発表された米PCEデフレーターは市場予想をやや上回る結果となったものの、その後発表された一連の米自動車販売が弱い結果となる中、米金利が低下に連れて一時109.92まで下落。その後は堅調な米株式市場にも支えられ、ドル円は結局110円台前半まで値を戻し、110.38でクローズしている。本日のドル円はやや上値の重い展開を予想する。好調な米企業決算に支えられ、米ダウ平均株価は節目となる22,000ドルを窺う展開となっており、比較的堅調なリスクアセットに支えられ、ドル円も一時的に反発する可能性もあろう。しかし、これをもって此処もとの米政権の不透明感の払拭や、ドル売りトレンドの反転に結びつくとは考えられず、ドル円は上値の重さが意識されるだろう。